



佐賀地域での分列行進



蛸瀬川での一斉放水

## 平成27年 黒潮町消防出初式

1月11日、「平成27年黒潮町消防出初式」が行われました。

当日は天候にも恵まれ、消防団員のほか、女性防火クラブ、少年消防クラブ、消防署員など関係者約250人が大方庁舎前の駐車場に集合。表彰式や消防車両の点検などの開会式典を行いました。

式典後は、大方地域上田の口地区の蛸瀬川で一斉放水を行い、大方地域から佐賀地域へ車両パレード。そして、佐賀新港から佐賀庁舎まで、徒歩と車両による分列行進を行いました。

万が一の火災や大災害などに備え、地域の防災活動に取り組んでいる関係機関がともに今年の活動のスタートを切りました。

黒潮町消防団は、今年も、地域の安全・安心を支える活動を行ってまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。



## コミュニティ助成事業を 実施しました！

財団法人自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するための事業を行っています。

黒潮町でも、この事業を活用して黒潮町消防団に小型ポンプを購入することができました。

黒潮町消防団は、日頃の消火活動に加え、風水害や地震津波の啓発・訓練など、さまざまな活動に取り組む地域防災の要です。

これらの活動が評価され、コミュニティ助成事業の対象となり、小型ポンプを整備することができました。

消火活動はもとより、その訓練や風水害・地震津波の際は給排水で活用することができます。

この事業により、地域の防災力と安心の向上が図れました。



小型ポンプを確認する情報防災課長と黒潮消防署員。



## 地域防災サポーター 養成講座を開催！

災害や防災対策について一定の知識と技術を持った人材を育成することを目的に、11月23日から『防災サポーター養成講座』全3講座が行われました。今年度は14の方が全過程を修了され、地域防災サポーターとして町の認定を受けました。

第1講座では、高知地方気象台の宮本さんと山内さんを講師に迎え、自分たちの暮らしている地域は、どんな場所で何が起きようとしているのかなど、南海トラフ地



第1講座 災害知識を学ぶ

震の仕組みや日頃起こりやすい台風、大雨といった風水害などについての講義をいただきました。  
第2講座は普通救命講習として、黒潮消防署員より救命に関する知識と技能を身に付け行動できるよう、心肺蘇生法とAEDの操作について学びました。

第3講座では、阪神・淡路大震災を兵庫県淡路島の淡路市で実際に体験し、消防団員として地域の災害対応に当たられた経験を持つ野島断層保存館副館長の米山正幸さんに、当時の様子をふまえ、被災した直後の災害活動や大きな災害時には日ごろの活動や地域のつ



第2講座 救命技術を学ぶ

ながりがいかに大切であるかといった、今後の備えについて講話をしていただきました。  
また午後からは実技講習として、

日本防災士会高知支部の土居清彦さんを講師に、搬送方法やロープワーク、身の回りにある物の便利な利用法など、災害時に地域で役立つ技術を学びました。

南海トラフ地震では、さまざまな被害が予想されますが、一人ひとりの備えが大きな効果を生み、備える人が増えることで安心して暮らせる地域社会となります。  
今後も同講座の開催を予定していますので、今回参加されなかつ



第3講座 災害時に役立つ技術を学ぶ

た皆さんも次の機会にぜひご参加いただき、災害に強いまちづくりを一緒に目指しましょう。



地域防災サポーター認定済みの方は135人になりました。認定された方々には認定ブルゾンを配布しています。



**Disaster Prevention Supporter**

○お問い合わせ

【本庁】情報防災課 消防防災係

☎43-2188(課直通)

【佐賀支所】地域住民課 総合窓口第1係

☎55-3113(直通)